

# 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年3月27日

事業所名： 千葉市療育センター  
福祉型児童発達支援センターやまびこルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・ 定員及び指導形態（集団・個別）に合わせた指導室のスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・ 指導室にキャラクターのイラストをつけ、行事に合わせた掲示を行うなどの視覚支援を行っている。 ・ 磁気ループやロジャースシステムを完備している。 ・ 保護者等に向けて、手話通訳や要約筆記（IPトークも使用可）といった情報保障を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・ 定期清掃による生活空間の清潔維持と、室温調整に努めている。 ・ 加湿器を導入し、湿度管理もやっている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・ 運営会議や打ち合わせの場で、職員間で検討し改善の機会を設けている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・ 指定管理の定期モニタリング及び保護者アンケートを実施し、業務改善を図っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ 年2回保護者アンケートを実施し、改善内容はお便りやホームページ等で公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・ 千葉市指定管理者選定評価委員会による外部評価を実施している。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・ 年間計画を作成し、職員の資質向上のための研修機会を設けている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・ 年2回保護者ニーズを確認し、言語評価に基づき支援計画書を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・ 聴力、言語検査を実施し、他機関で行った発達検査の結果と総合して、課題の分析を行っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ 聴覚障害の障害特性を考慮した上で、「聴覚活用」「言語・コミュニケーション」「活動」「社会性」と具体的な支援内容を設定し、支援に努めている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・ 資質向上のための研修参加及び保護者のニーズを把握し、随時検討している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○		・基本的には個別指導と集団指導の両形態を提供し、個別支援計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・支援開始前の打ち合わせを実施し、出欠席の確認や職員の動き、役割の確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援終了後の終礼に、お子さんの様子を中心に職員全員で情報共有をし、記録を作成している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・支援内容を個々の指導記録に記載している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・週1回、ケース会議を行い、各ケースについて、支援計画の見直しも含め検討している。	
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・必要に応じて参画する。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・公開療育を実施し、市の支援課の担当者や保健師にも来所してもらい、連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・幼稚園・保育所訪問を実施し、子どもに関する情報共有と連携を行っている。必要があれば電話での連携も行っている。年1回療育参観を実施して、支援内容を参観してもらう機会を設けている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・就学先の難聴学級や聾学校を訪問し、聴力や言語発達状況、また支援内容の情報共有し、移行支援の充実を図っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・千葉県通園施設連絡協議会や千葉県早期支援聴覚担当者連絡会などの研修に職員を派遣している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・毎回の指導ごとに実施している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・保護者セミナー及び勉強会を12回実施した。グループ指導の懇談の時間に、発達や年齢に応じた情報提供を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約や更新時、運営方針説明で内容確認を行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・保護者のニーズと個々の課題・目標に沿って個別支援計画書を作成し、保護者に説明を行い、同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・活動プログラムに保護者との懇談を設定し、保護者からの疑問や悩みを聞き、助言を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・年2回保護者懇談会の開催を支援している。また人工内耳懇談会を開催した。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談や申し入れについては、随時職員間で協議し、適切な対応に努めている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月に一回配布している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・行事で必要に応じて、手話通訳や要約筆記を導入している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・感染症対策の職員研修等一部実施している。感染症流行の際の対応については保護者向けに書面を配布した。訓練については、実施していないが準備を進めている段階である。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・毎月1回、防災訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	・給食は、常食提供のみ行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・毎年、定期的に伝達講習を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・身体拘束は行っていない。	

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。